

こども園関係者評価委員会 会議録

日時 令和5年6月26日(月) 午後1時半～

・園の取り組み状況 ※資料参照

・評価委員と園との意見交換

- ① 令和4年度に職員を3名採用とのことですが、人気が高いということですか。
→退職職員の補填もありますが、こども園になり、1号認定のお子さんが各クラス5人ずつ増え、担任を各クラス2人ずつ配置するというので、3名採用しました。
- ② 今年度は産休育休の職員が4名、若い職員も多いと思いますが、ベテラン職員の経験を先輩から後輩へどのようにつないでいっていますか。
→言葉だけでは難しいので、すべて一緒に行動しながら丁寧に伝えていっています。
- ③ ゲリラ豪雨で吉野川の増水や田んぼが半分以上宅地になっており、水の事故が起きないか心配です。垂直避難などどのようにしていますか。
→毎年、年一回、垂直避難の避難訓練を行っています。また、災害が起きる可能性がある時は、近隣の状況を見ながら、できるだけ早く保護者に迎えに来てもらうよう連絡するようにしています。
- ④ 小学校との接続について、今年度は駅家小学校の先生方10人が8月29日にあおばこども園に来て、年長児の保育内容や園児の姿を見て学ぶ機会を予定しています。
 - ・ 保幼少連携は、これまで組織同士、職員同士の連携まででしたが、保護者の思いも含めた連携協議会にならないかと思っています。(小学校)
 - ・ 県教委は、15歳までに「自己を認識する力」「将来を選択する力」「自己を表現する力」の3つの力が取得できるように…と言っていますが、このことをふまえた保幼少連携を進められたらいいと思います。(小学校)
- ⑤ 令和5年2月の関係者評価委員会で、保護者の不安を解消するため、様々なツールを利用した対面での保護者研修について検討していくといった内容について。
→園では、地域の未就学のお子さんがおられる方が気軽に園に遊びに来られるように、支援室の開放日を設け、保護者の子育ての悩みを聞いたり、親子で一緒に遊んだり、保護者同士の交流の場となるようにしています。また、あおばこども園に在園している子のお子さんがおられる方に声をかけ、入園してからスムーズに園生活が送れるように、家庭での様子(離乳食の進め方、身体の発達具合など)や子育ての悩みなど保護者同士が意見交流できる場を設けています。
→(公財)ひろしまこども夢財団共催で親子の絆づくり、親同士の仲間づくり、乳幼児期に必要な基礎知識の獲得の3つを目的とした講座を実施し、上の子どもへの関わり方を学び合う学習会を7～9月で開く予定です。

次回 令和6年2月頃予定